



実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

Vol. 82

8月
2026



特集

市長が目指す

次の4年間

P2

- P 4 6月定例会で決まったこと
- P 8 5月臨時会で決まったこと
- P11 市長の施政方針
- P12 一般質問に 8 議員
- P16 委員会レポート
- P17 全国・山梨県市議会議長会表彰
- P18 市民の談話室・編集後記

河西 煌叶ちゃん
かさい ほうか

タイトル：ハーフバースデーはケチャップ！ 撮影時期：令和8年5月上旬
トマトの帽子とケチャップの服を着て、元気モリモリにお野菜と撮りました
撮影者：河西 碧さん（布施）

施政方針（要約）は11ページにあります。
また、全文は市HPでもご覧いただけます。
（右記QRコードからどうぞ）



育て・教育

施設の改修やICT
施設の改修を進
した教育・子育
ます。子どもた
学び成長できる
目指します。

集～ 次の4年間 政策

まともに、
まちづくりを



②健康・長寿・福祉

山梨大学と連携し、健康づ
くりプロジェクトや福祉計
画を推進。誰もが健やかに
支え合える地域共生社会を
実現します。

議員の声

子どもたちの健全な育成を目指す市長の施
策に賛同します。地域独自の魅力を活かし
た政策として期待しています。

議員の声

市民の健康と長寿を支える施策の
推進として、福祉施設のさらなる
拡充と充実に期待。市として前向
きな取り組みと、よりよい制度が
生まれることを願います。

議員の声

地域のヘルスケアプロジェクトは、市長の考える
「教育、福祉、医療」の三つが揃い、活気あるまち
づくりを目指す中央市にとって、大きなポテンシャ
ルを秘めています。次世代を見据え、中央市から元
気なまちに取り組む情報の発信に期待します。

③地域振興



地域特性を活かした農業振興施
策と観光交流拠点の役割充実を
図り、交流人口の拡大と地域の
活性化に取り組みます。

議員の声

今後建設が予定されている新市民体育館は、将
来にわたり市民が利用する重要な公共施設であ
り、市民の期待も大きく、多くの市民やスポー
ツ関係者が完成を心待ちにしています。

※このほか、「昨今の中東情勢による影響が懸念され、市民生活を
危惧する」との議員の声がありました。

望月市長は第2期目就任後、初となる令和8年6月定例会のあいさつのなかで施政方針として5つの分野の重点政策を表明されました。

議員の声

市民の皆様が人生の様々な場面で安心して行政サービスを受けられる環境を整えることも、市民サービスの充実の一つであると考えます。

議員の声

DX化の推進による手続きの効率化とともに、市民に寄り添う丁寧な対応を大切にし、ワンストップ窓口による市民サービスのさらなる充実を目指す行政運営に注目しています。

議員の声

リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりは、中央市の将来を大きく飛躍させる施策です。中央市の立地を活かした企業誘致や地域の活性化を進め、市の独自性に期待しています。

議員の声

道の駅とよとみのリニューアル構想は、農業活性化と観光拠点刷新での地域力強化や活力あるまちづくりにより、地域資源を最大限活用し、中央市の特色を活かした魅力あるプロジェクトの展開で、競合に負けない発展を。



①子育て

老朽化した学校施設
環境整備、保育
め、安全で充実
て環境を整えま
ちが安心して学
まちづくりを目



⑤市民サービス

DX化を推進し行政の効率化を図るとともに、市民に寄り添ったきめ細やかなサービス提供で満足度の向上を目指します。

～特 市長が目指す 重点

市民のみなさん
未来につながる



④まちづくり

リニア中央新幹線開業を見据えた交通整備や企業誘致、防災体制強化を進め、安心して活気あふれる暮らしやすいまちづくりを推進します。

令和8年度 一般会計補正予算 (第2号)

総額

1億8,798万円を増額

155億338万円に

(1万円未満は四捨五入しています)

6月定例会は6月11日から6月23日までの13日間の会期で開催され、市長提案の条例案件5件、予算案件3件、その他の案件2件を審議しました。

また、予算繰越など報告案件8件が報告されました。

※今回は、当初の骨格予算に政策的経費などを追加した補正予算です。

主な内容

○総務費

・旧田富健康管理センターの解体設計費用	569万円
・旧田富総合会館のキュービクルトランス※1)入替工事費用	549万円
・市道1006号線道路拡幅に伴う光ケーブル移設費用	770万円
・子育て世帯住宅取得支援事業補助金の事業費	840万円

○民生費

・田富南保育園の管理費用(令和8年11月に供用開始予定)	318万円
・田富第一・田富北保育園統合事業	640万円
・生活保護費扶助事業	1,500万円

○衛生費

・飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金事業	143万円
・自治会等涼み処開放助成事業	92万円

○農林水産業費

・活力ある水田農業支援事業費補助金の費用	322万円
・土地改良施設等維持管理事業	500万円

※1) 変圧器や配電盤などの箱型の高圧受電設備

○土木費

・市道3169号線歩道整備事業	1,526万円
・総合防災公園の日除け(パーゴラ)となる東屋の設置工事費用	198万円

○消防費

・可搬ポンプ積載車2台及びポンプ車1台の更新費用	5,364万円
--------------------------	---------

○教育費

・ICT教育環境整備事業(大型電子黒板の購入費用)	616万円
・体育館への空調設備設計費用(小学校及び中学校)	1,942万円
・市立図書館のフリーWi-Fi整備費用	300万円

討 論

反 対

(後述7ページの)施設使用料引き上げが予算に盛り込まれている。この使用料の引き上げ分は計上すべきでない。

- ・結果 起立採決の結果、起立多数により可決されました。

主な条例案件

○ 地方税法等の一部改正に伴い、新たな課税規定が導入されます。

●中央市税条例中改正の件

(施行日 令和9年1月1日)

(一部：令和9年4月1日、令和10年1月1日、金融商品取引法及び資金決済に関する法律の一部を改正する法律の施行の日の属する年の翌々年の1月1日)

主な改正内容

- ・ 公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲を拡大する。
- ・ 固定資産税の免税点について、家屋を20万円から30万円に、償却資産を150万円から180万円に引き上げる。
- ・ 特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例の適用期限を延長する。
- ・ 個人の市民税の住宅借入金特別税額控除の適用期限を5年間延長する。
- ・ 優良住宅地の造成等のために、土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る市民税の課税の特例を、災害危険区域等に所在する場合、税額控除の適用対象外とする。
- ・ 特定暗号資産を譲渡した場合の特定暗号資産に係る譲渡所得等の金額に対し、課税譲渡所得等の金額の100分の3に相当する金額に相当する市民税の所得割を課することを規定する。

- **新たに導入される個人番号カードと一体化された特定在留カードおよび特定特別永住者証明書は、外国籍の住民も個人番号カードと同様のサービスが利用できるようになります。**

- **中央市印鑑条例中改正の件**
(施行日 公布の日)

主な改正内容

- ・ 特定在留カードまたは特定特別永住者証明書を使用したコンビニ等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付等を新たに可能とするため、特定在留カード及び特定特別永住者証明書を追加する。



- **税制改正に伴い、介護保険料減免の特例を定めるため、条例改正が行われます。**

- **中央市介護保険条例中改正の件**
(施行日 公布の日 (適用：令和8年4月1日))

主な改正内容

- ・ 令和7年度非課税者に係る特例
令和7年度税制改正による給与所得控除見直しにより、令和7年度市町村民税が非課税であり、令和8年度においても引き続き市町村民税が非課税となる範囲内で就労時間の調整を行った者が、介護保険法施行令の一部改正に伴い、課税者とみなされ、令和8年度の介護保険料段階が上がる場合、非課税者として判定する保険料段階まで保険料を減免することができる特例措置を定める。

○ 田富中学校の武道場の使用料が改定されます。

● 中央市使用料徴収条例中改正の件 (施行日 令和8年7月1日)

主な改正内容

社会体育事業における中央市立田富中学校武道場の空調設備の使用を認めることに伴い、施設使用料の額を改定する。

	使用場所	市内者使用料	市外者使用料
改 正 前	剣 道 場	1時間あたり 260円	原則不可
	柔 道 場		
改 正 後	剣 道 場	1時間あたり 560円	原則不可
	柔 道 場		

反対

施設使用料を引き上げる理由として、空調設備の使用を認めることを挙げているが、空調設備使用時に別途使用料を徴収すればよく、使用時と同等の使用料とするべきではない。

討 論

近年の厳しい暑さや寒さの中、利用者の安全性と快適性を守るために空調設備は不可欠である。この現状を踏まえ、使用料改定は利用者の快適な環境を維持する上で必要な取り組みであり、長期にわたり市民全体に大きな利益をもたらすものである。

賛成

・結果 起立採決の結果、起立多数により可決されました。

報 告 案 件

○ 令和7年度予算で計上された事業のうち、28事業について令和8年度へ繰越をすることが報告されました。

(一般会計予算繰越明許・一般会計予算事故繰越・一般会計予算継続費の通次繰越・介護保険特別会計予算継続費の通次繰越・簡易水道事業会計予算継続費の通次繰越・農業集落排水事業会計予算繰越・上水道事業会計予算繰越・上水道会計予算継続費の通次繰越)

■ 繰越する主な事業は以下のとおりです。

- ・ ふるさとづくり応援寄附金事業 ……………2,645万円
- ・ 防 災 諸 費 ……………1,988万円
- ・ 物価高対応子育て応援手当支給事業 ……………1,639万円
- ・ 保育園施設整備事業 ……………2,769万円
- ・ “心”あるまちへ!活性化キャンペーン商品券事業 ……………3億4,602万円

第1回臨時会

○ 令和8年度 一般会計補正予算(第1号)

**保育園施設改修事業（玉穂保育園）に6,945万円増額
総額153億1,540万円に**

第1回臨時会が5月15日に開催され、市長提案の専決処分案件2件、条例案件1件、予算案件1件、その他の案件2件、人事案件3件を審議しました。また5月16日任期満了に伴う中央市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

主な専決処分案件(条例案件)

○ 国民健康保険税の課税限度額、軽減割合を判定する所得の基準が変更されます。

●専決処分の承認を求める件（中央市国民健康保険税条例中改正の件）

主な改正内容

- ・基礎課税額に係る課税限度額を67万円（現行66万円）に引き上げ、子ども・子育て支援納付金課税額に係る課税限度額を3万円とする。
- ・低所得者に対し被保険者均等割額及び世帯別平等割額を軽減する基準について、5割減額の対象となる所得の算定において、被保険者等の数に乗すべき金額を31万円（現行30万5千円）に、2割減額の対象となる所得の算定において被保険者等の数に乗すべき金額を57万円（現行56万円）に引き上げる。

その他の案件

○ 契約締結の件

- ・工 事 名：関原浄水場建屋及び場内整備工事
- ・契 約 金 額：865,700,000円
- ・契約の相手方：内藤ハウス・中村建設関原浄水場建屋及び場内整備工事共同企業体
（代表構成員） 山梨県韮崎市円野町上円井3139番地
株式会社内藤ハウス 代表取締役 内藤 篤
（構 成 員） 山梨県甲斐市万才300番地
株式会社中村建設 代表取締役 中村 国男

○ 契約締結の件

- ・工 事 名：中央市立田富小学校屋内運動場長寿命化改修等（建築主体）工事
- ・契 約 金 額：461,780,000円
- ・契約の相手方：井口工業・興龍社中央市立田富小学校屋内運動場長寿命化改修等（建築主体）工事共同企業体
（代表構成員） 山梨県甲府市国母五丁目18番22号
井口工業株式会社 代表取締役 井口 雅斗
（構 成 員） 山梨県甲府市富竹一丁目10番31号
株式会社興龍社 代表取締役 名取 藤陽

人 事 案 件

●中央市監査委員の選任について同意を求める件

監査委員2名の任期が令和8年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の選任について同意しました。

- ・北 村 利 一 氏（西花輪）
- ・中 沢 愛 裕 氏（高部）

●中央市公平委員会委員の選任について同意を求める件

公平委員会委員3名の任期が令和8年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の選任について同意しました。

- ・伊 藤 信 雄 氏（成島）
- ・石 田 江 美 氏（上三條）
- ・込 山 ひとみ 氏（高部）

●中央市教育委員会委員の任命について同意を求める件

教育委員会委員1名の任期が令和8年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の任命について同意しました。

- ・石 原 英 一 氏（極楽寺）

選 挙

●中央市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

- | | | |
|---------|----------------|----------------|
| ・ 委 員 | 河 崎 博 也 氏（藤巻） | 鮎 川 英 哲 氏（布施） |
| | 渡 邊 加代子 氏（成島） | 山 口 保 孝 氏（関原） |
| ・ 補 充 員 | 村 松 雄 二 氏（西花輪） | 田 中 美 郎 氏（東花輪） |
| | 中 澤 安 博 氏（上三條） | 飯 室 和 仁 氏（大鳥居） |



今年度のテーマは「元氣ハツラツ」です。

地域の笑顔、イベントの風景、ボランティア活動等、元気いっぱいの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか!!

（表紙に採用された方には粗品を贈呈します）



※詳細は HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/13325.html)

をご覧ください。事務局（055-274-8516）までお気軽にお問い合わせください。

臨時会・定例会審議結果

○賛成 ×反対（金丸 俊明 議長を除く）

種別	案 件 名	副議長	フ ォ ー ラ ム 中 央										至誠会		公明党	日本共産党	無所属	結 果
		山本六男	田中一臣	福田清美	井口貢	小池章治	斉藤雅浩	笹本昇	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一	江間政雄	新海一芳	田中輝美	木下友貴	
第 1 回臨時会																		
専決処分	専決処分の承認を求める件 (税条例中改正の件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認
	専決処分の承認を求める件 (国民健康保険税条例中改正の件)																	
条例	行政手続条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
令和8年度補正予算	一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
その他	契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	契約締結の件																	
人事	監査委員の選任について同意を求める件																	同意
	公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	教育委員会委員の任命について同意を求める件																	
第 2 回定例会																		
条例	職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件																	可決
	税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	印鑑条例中改正の件																	
	介護保険条例中改正の件																	
	使用料徴収条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
令和8年度補正予算	一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）																	
	介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	市道路線廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	市道路線変更の件																	

※ハイフン（—）は欠席により採決に加わっておりません。

6月

定例会

市長の 施政方針



私は「市政は市民一人ひとりが主人公」を基本理念に、市民に寄り添う安心なまちづくりを進めます。2期目はこれまでの成果を土台に「子育て・教育」「健康・長寿・福祉」「地域振興」「まちづくり」「市民サービス」の5分野の重点政策をさらに発展させます。初心を忘れず挑戦する姿勢で、活力と魅力にあふれ、次世代に誇れる豊かな中央市の実現へ向け、丁寧かつ迅速な行政を推進します。

子育て・教育

まず、子育て世代の定住と持続的な発展を目指し、教育環境の整

備と子育て支援を重要課題に掲げています。具体的な施策として、老朽化した

小中学校施設の計画的な長寿命化や、熱中症対策のための体育館への空調設備整備、デジタル社会に対応したICT教育の充実を推進します。さらに、保育園や児童館の大規模改修を行い、安全性と利便性を高めることで、安心して子育てができる環境を構築します。これらの取り組みを通じ、子どもたちが中央市に生まれ育ったことに誇りを持ち、自らの夢に向かって挑戦できる質の高い教育環境の提供を推進します。

健康・長寿・福祉

次に、山梨大学等の連携による「PROJECT ZERO」やデジタル技術を活用した健康情報基盤の取り組みを進め、安心で健やかなまちづくりを目指します。福祉分野では、令和8年度に最終年度を迎える地域福祉計画と障がい者（児）福祉計画の次期計画（令和9年度）策定に向け、今年度は

現計画の目標を実行し、丁寧な課題把握に努めます。少子高齢化や複雑化する福祉ニーズを捉え、誰もが支え合える地域共生社会の実現を推進します。

地域振興

高齢化や担い手不足が深刻化する農業において、「地域計画」に基づき地域特性を活かした施策を推進します。観光面では、老朽化が進む道の駅「とよとみ」を、特産品販売の強化や地域連携、イベント開催などの多角的な機能を持つ新たな「観光交流拠点」として再整備する検討を進めます。これら農業と観光の2つの柱を連携させることで、地域の魅力を発信して交流人口の拡大を図り、活気あふれる地域社会の構築を目指します。

まちづくり

2031年完成を目指すリニア中央新幹線「山梨県駅」の着工に合わせ、企業誘致や主要道路整備など周辺のまちづくりを推進し、地域活性化と「実り豊かな生活文化都市」の実現を目指します。人口減少対策として、若い世代の定住

を促すため結婚・移住支援や教育・保育環境の整備を強化します。さらに、多発する災害に備え、官民連携やデジタル技術の活用、避難所の環境整備を進めることで、防災・減災のリテラシー向上とレジリエンスの強化を図り、災害に強い安全なまちづくりに取り組みます。

市民サービス

人口減少や多様化する行政ニーズに対応するため、行政サービスのDX化を推進し、窓口業務の効率化と市民の利便性向上を図ります。これにより、創出された時間を市民との対話や専門業務に充て、きめ細かな市民サービスへと繋げます。また、再整備計画を進める新市民体育館は、利便性や交流の場としての機能を配慮し整備します。

依然として厳しい財政状況を踏まえ、事業の峻別や見直しを徹底し、最少の経費で最大の効果が得られるよう、健全で計画的な行政運営に努めます。



Q

鳥獣害対策の状況は

A

猟友会、自治会等との協議検討を進めていく

福田 清美 議員

問：緊急銃猟をふまえた対応マニュアルは。

答：本年3月末に山梨県では、県内各市町村が対応できる共通マニュアルの完成版を策定しており、本市でも、このマニュアルを参考に猟友会や警察、関係機関と協議しながら、本市の実情に応じた「中央市緊急銃猟マニュアル」の策定に向け、準備を進めている。現在、マニュアルの原案について、各関係機関等からご意見をいただいております。7月には、マニュアルが完成する予定となっている。

問：ICT等の新技術を活用した被害対策の推進について。

答：本市では、昨年度、猟友会からの要望を受け、シカやイノシシを捕獲するための「くくり罠」に発信機を設置し、罠にかかるマ

グネットが外れ、受信機が反応するという機器を導入した。同機器の増設や、新たなセンサーカメラを含む新技術の導入は、今後、猟友会の方々のご意見を踏まえ、先進地の事例も参考に、検討を進めていく。

問：鳥獣害防止柵の延伸について。

答：鳥獣害防止柵の延伸、設置について、大鳥居自治会からご要望があり、令和7年2月に行った自治会との協議では、営農状況や、設置後の維持管理を総合的に判断した設置場所の概要図を策定することとしていたが、昨年度、クマの目撃情報があり現地調査を見合わせた。本年度、あらためてクマ対策を講じながら、現地調査を行い、設置概要図を作成したうえで、自治会との協議を進めていく。



Q

シルクライン延伸事業の状況は

A

事業推進の手法が最大の課題である

江間 政雄 議員

問：シルクライン延伸事業について想定されるルートや概算の事業費は。

答：想定ルートは、現時点で具体的に決定したルートはない。

概算事業費は、令和5年度当分で最少でも約58億円、最大では約107億円の事業費の試算である。この試算には工事用道路や切回し道路の仮設費等は含まず、補償や用地費などは概略の数字のため、実態と乖離している可能性もあり、昨今の経済情勢などを考慮すると、実質の総事業費は当時の試算よりも、大幅増額を見込んでいます。

問：実現に向けての課題等は。

答：仮設工事等を含めると最低でも100億円を超える規模の事業となり、この規模の事業

を市単独で実現することは不可能であり、事業推進の手法が最大の課題である。また、平面交差の工法を採用した場合、2m以上嵩上げの必要のある既存の交差点があり、国道、既存シルクラインとも相当程度の長さの擦り付けが必要となり、仮設道路や切回しに伴う関係機関等との調整も必須となる。また、延伸先の旧玉穂地区には公的機関、複数の民間企業が立地しており、その土地や建物が支障となり、企業活動等に多大な影響を及ぼすことから、その対応に慎重な協議、調整も事業検討に際しての大きな課題の一つとなっている。

【関連質問】

小池章治 議員



Q

おくやみ手続きのワンストップ窓口設置について

その必要性について、研究していく

中沢 美恵 議員

問：死亡届に伴う手続きは。

答：現在の手続きは、ご遺族の方に「おくやみ手続きのご案内」パンフレットと「死亡届に伴う手続き」の用紙をお渡しし、該当事項、手続きの内容や持参するものなどをご確認いただいている。おくやみ手続きを一か所で支援する窓口は、導入されている自治体の状況を参考に、本市の体制を考慮したうえで、また、窓口業務全体の見直しという観点からも、その必要性について、研究していく。

問：公立保育園におけるアレルギー対応給食の安全体制は。

答：本市ではアレルギー対応給食について、安全管理徹底の観点から玉穂保育園において集中対応する方式を採用している。万が一の事故発生時の指揮系統

は、事前に定める事故対応マニュアルや園児ごとの個別対応表に基づき、アレルギー担当保育士を兼務する常勤の看護師が中心となり速やかに対応できる体制としており、看護師が不在の場合でも、全ての保育士がこのマニュアル等を共有し、常時対応できる体制を整えている。また、園長が全体の統括として指揮を執り、園を所管する子育て支援課、こども健康部と速やかに情報を共有し支援する体制をとっており、職員個人に過度な負担等とならないよう、今後とも報告・連絡・相談体制の強化に努めていく。

本年11月に開園を予定する田富南保育園では、令和9年度から新たにアレルギー対応給食の提供を予定している。



Q

行政と自治会との関わりについて、役員負担の軽減策は

自治会役員の負担を少しでも減らす環境を検討していく

志村 勇 議員

問：自治会役員のなり手不足と業務負担の軽減策は。

答：自治会役員のなり手不足の背景には、自治会会員の高齢化、核家族化、共働き世帯の増加など生活等に対する時間的余裕の不足や自治会役員への業務負担の増加が影響していると考え、自治会と行政が協力し、この課題解決に向けて、取り組む必要がある。行政として、回覧や文書配布に係る見直し、デジタル活用による効率化など、他市等の先進事例を参考に調査研究を行い、自治会役員の負担を軽減する環境を検討する。

問：コミュニティ機能低下への対応・考えは。

答：地域コミュニティ機能を向上させるため、積極的に取り組む必要があり、市では、様々な自治会

活動の課題に対応する活動例を記した「中央市自治会ハンドブック」を作成し、各自治会に配布している。また、自治会長会は、自治会長会議を開催し、各自治会で抱える諸課題等をテーマに意見交換を行い、さらに、自治会長会で作成した自治会加入を促すPRチラシを配布し、自治会活動の紹介とともに、自治会加入への呼びかけと地域コミュニティの必要性の周知を図っている。こうした取り組みを積極的に推進し、地域で支えあい、尊重しあう、誰もが安全で安心して暮らせる持続可能な地域コミュニティづくりにつなげていく。

【関連質問】

有泉 誠 議員



防犯灯の整備は

小学校通学路と主要幹線道路、1級及び2級市道は市が設置、管理をし、それ以外の自治会内の場所は自治会で設置、管理する

有泉 誠 議員

問：避難所及び避難経路の灯りの確保について。

答：災害時には「自分の命は自分で守る」という自助が重要であり、各家庭において懐中電灯や携帯用ライトなど、停電時に使用できる備品を準備していただくよう、引き続き呼びかけていく。また、自治会には、コミュニティ助成事業等を活用し、照明設備や発電機等、防災資機材を整備し、事業の周知に努め、有効に活用していただきたい。今後、災害に強いまちづくりに向けた取り組みの一つとして、停電時対応型防犯灯を含む、防犯灯の整備について、他市等の先進事例を参考に調査研究していく。

問：各施設の予約管理について。

答：施設の事前予約手続は、毎年3月、6月、9月、12月に市スポーツ協会加盟団体等を対象に「施設利用調整会議」を開催し、各施設の利用を団体間で調整すること、公平かつ計画的な利用を図っている。ただし、この会議後の施設予約状況が一般の利用者には周知されにくいという課題もある。そこで市教育委員会では、現在県が運用している「やまなしくらしねっと」サービスへの加入を検討している。これにより、一般利用者はオンラインでの施設の空き状況の確認と予約が可能となり、利便性の向上が期待できる。

【関連質問】

内藤 巧 議員



中央市独自で保育園給食費無償化を直ちに実施することは

現時点で保育園の給食費の無料化を直ちに実施することは予定していない

木下 友貴 議員

問：中央市独自で保育園給食費無償化を直ちに実施することは。

答：現在、保育園の給食費として、3歳以上児のおかずなどの副食費として、所得状況に応じて、また、ご飯などの主食費として一律にご負担いただいております。高騰の影響下で、食材費の増額分は市が負担するなどの対応を継続的に実施しており、「3歳未満児の保育料無料化」は、他市に先行して導入してきた。従って、現時点で保育園の給食費の無料化を直ちに実施する予定はない。

問：修学旅行費、学用品費、校外学習費などの保護者負担への支援について。

答：本市では経済的な理由により就学が困難なご家庭に対し、就学援助制度に基づき、学校生活

が必要となる経費の支援を既に行っている。市教育委員会は、この就学援助制度を適切に運用し、真に支援を必要とするご家庭を支えていくことが責務である。

問：国民健康保険均等割などの減免制度の拡充について。

答：国は、現在未就学児を対象としている国民健康保険の保険料「均等割」の軽減を、令和9年4月より高校生の年代まで拡充する方針を示しており、市では、国の方針が明確化された後に円滑に対応していく。また、国民健康保険制度の安定的な運営を確保するために、国保財政調整基金からの繰入れは行わない方向で進めている。



Q 防災会議の女性委員登用及び女性の視点への取り組みは

A 女性の視点を取り入れながら、防災体制の充実に努める

田中 輝美 議員

問：防災会議の女性委員登用及び女性の視点への取り組みは。

答：委員構成は、委員20名のうち、女性委員は3名である。防災体制において女性の参画の必要性は十分認識しており、現段階で女性職員の増員予定はないが、今後も様々な機会を通じて、女性の視点を取り入れながら、防災体制の充実に努めていきたい。

問：災害時のトイレ環境の整備は。

答：まず各避難所における必要なトイレ数の確保を優先する。また、マンホールトイレが整備済みの避難所では、そのマンホールトイレを活用し、その他、パッキン式トイレなど施設の状況に応じた簡易トイレ資機材の整備を進めている。

問：犯罪の低年齢化への対策は。

答：現状の対策として、各小中学

校で「情報モラル教育」を子どもの発達段階に応じ、SNSの危険性や個人情報情報の適切な管理、ネットいじめ等の問題について指導している。さらに、警察等と連携した「非行防止教室」や「防犯教室」等の特別学習も実施。「まごころ」の教育基本理念のもと道徳教科や特別活動の時間を中心に、かけがえない生命の尊さ、他者を思いやる心、社会のルールを守り、自立し、たくましく、これからの社会を生き抜く力を子どもたちの心に届くよう繰り返し指導している。子どもたちを犯罪の被害者にも被害者にもさせないためには、学校、家庭、地域社会の重層的セーフティネットの構築が重要と考える。

【関連質問】

福田清美 議員



Q 子育て・教育、健康・長寿・福祉の具体的な施策や取り組みは

A 実り豊かな生活文化都市の実現に向け、全力で適進していく

新海 一芳 議員

問：「子育て・教育」「健康・長寿・福祉」の具体的な施策や取り組みについて。

答：一つ目に、山梨大学医学部と連携し、医学部の医師による「ウェルビーイング」や「減塩」をテーマにした小中学校における授業のほか、子どもたちが自発的に健康について調べる機会をつくるプロگرام、また、地域住民を対象とした授業やイベントを行い、医療・教育・行政・企業・市民を横断的につなぎ、疾病予防という枠を超えて、地域の魅力・価値の向上を目指す。また、子どもたちが「医療」に関心を持ち、自分の将来の職業の選択肢を広げることも期待できるほか、自らの夢に向かって挑戦できる質の高い教育にも繋げる。

【関連質問】

江間政雄 議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

使用料を引き上げる理由は

◎ 税条例中改正の件

〈市民部 税務課〉

問：土地等を譲渡した場合の課税特例で「災害危険区域等は課税特例には該当しない」場所は本市にあるのか。

答：地すべり防止区域で豊富地区に16か所、土砂災害警戒区域で豊富地区に18か所該当する。浸水被害防止区域では、南アルプス市にある中央市の飛び地が該当する。

◎ 使用料徴収条例中改正の件

〈教育委員会 生涯教育課〉

問：空調設備を利用しない場合、利用状況に応じた料金設定ではなく、一律の基本料金引き上げとなった経緯は。

答：この施設は冷暖房設備が整っており通年利用が可能である。冷暖房の使用は利用者の判断による。近年、特に夏場の冷房使用の強い要望があり、使用を可能とした。また、使用に伴い維持管理費も必要となる。

◎ 一般会計補正予算（第2号）

〈総務部 危機管理課〉

問：災害時に使用する井戸水は、田富・玉穂・豊富地区、それぞれに平均的にあるのか。

答：使用可能な井戸水は現在把握できていないが、この制度を広く周知し、賛同してもらえ方を募集する。また、毎年、民間事業者による井戸水の水質検査が実施されているので、そのような機会を活用して、井戸所有者の方へ制度の案内や登録の呼びかけを行う予定である。

〈総務部 管財課〉

問：総合防災公園に設置するパーゴラ（日除け）の詳細説明を。

答：高さ244cm、長さ400cmのものを2基設置する。冬には日除け部分を取り外すことも可能である。親子連れなどが集まる水遊び場と、南側にある幼児用遊具との間への設置を考えている。

厚生常任委員会

審査ポイント

自治会等涼み処助成事業とは

◎ 一般会計補正予算（第2号）

〈市民部 市民環境課〉

問：飼い主のいない猫への不妊・去勢の取り組みに携わっている人は、市内にどれくらいいるのか。

答：令和7年度は個人として19名の方より、99匹分の申請があった。

〈子ども健康部 子育て支援課〉

問：園児の緊急搬送時のタクシー借上げ料は、なぜ救急車を要請せずタクシーなのか。また、その判断は誰がするのか、責任の所在等は明確なのか。

答：緊急を要する場合は、これまでもどおり迅速に救急車を要請する。今回のタクシー借上げは、救急車を呼ぶほどではないものの、保護者の来園を待たずに受診が必要なケースを想定している。各市立保育園には看護師が配置されており、判断は、園の看護師が症状を確認し、必要に応じて園医と連携して行う。

〈子ども健康部 健康増進課〉

問：自治会等涼み処助成事業について、自治会施設を開放し、涼み処となる基準等の詳細説明を。

答：冷房施設が整っていること、午前9時から午後5時までで、1日あたり1時間以上開放していること、施設内がおよそ28度を目安に適切な環境が確保されることが条件。今年度、県の実施要綱に基づき、市と共同で実施する場合に限り、県と2分の1ずつ負担する事業となる。

産業土木常任委員会

審査ポイント

耐震改修事業の進捗状況は

◎一般会計補正予算（第2号）

〈産業建設部 建設課〉

問：木造住宅耐震改修費補助金を減額した場合、事業費は賄えるのか。また、耐震改修に関する現在の申込件数は。

答：耐震診断の申請が2件、ブロック塀の改修撤去の申請が3件。今後予定を超える申請等の場合には、耐震という性質上、一般財源で補っていききたい。

問：公営住宅の管理費が国の内示額の変更に伴い、財源振替のみの補正予算となっているが、国費が減少し、地方債や一般財源が増加している状況から、事業の2か年実施により地方債の負担を軽減できないか。

答：今回は、外壁や防水、改修・解体に充てられるが、性質上、2か年での工事は難しい。次年度の財源も、各自治体でインフラの老朽化が問題となるなか、見通しが立てられないため、改修や解体は財源を振り替えて対応していく。



〈産業建設部 産業課〉

問：活力ある水田農業支援事業の市内の営農団体への補助とは、どういう団体か。また、高品質米とはどういう米か。

答：農業協同組合、農業生産法人、営農団体が対象。このうち営農団体は、3戸以上の農家で組織する団体のことである。高品質米とは有機栽培のほか、米の品種としては、「にじのきらめき」、「農林48号」が該当する。また、県で米の生産量を増やす取り組みとして、主食用米も含まれている。

表彰

全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より表彰されました。

各議員におかれましては、市政発展に尽くされ、その功績が認められたものです。

全国市議会議長会表彰

正副議長表彰	福田 清美	議員
正副議長表彰	井口 貢	議員
議員15年表彰	小池 章治	議員
議員15年表彰	木下 友貴	議員

山梨県市議会議長会表彰

正副議長表彰	福田 清美	議員
正副議長表彰	井口 貢	議員
議員15年表彰	小池 章治	議員
議員15年表彰	木下 友貴	議員

議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の役割を果たすための改革について協議を進めています。

6月19日に開催されました当委員会での協議内容及び決定事項は以下のとおりです。

令和7年度までの議会改革の進捗を振り返り、令和8年度に向けた新たな取り組みへの協議が行われました。

【災害対応訓練の拡充】

- ・電子機器による安否確認訓練のほか、災害対応力の強化を目指し、AEDを用いた心肺蘇生法訓練の導入

【議場の映像配信】

- ・配信の方法や今後の計画案の具体化

引き続き、これらの課題について調査・研究を継続し、進捗状況を報告していきます。

市民の談話室

リバーサイド第三自治会
(自主防災会長)たけだ かすと
竹田 和外 さん

防災意識の向上！

リバーサイド地区に移り住んで25年が経ち、人生の半分をこの土地で過ごしました。住みよい環境で暮らしていますが、この土地の過去の歴史を振り返ると、幾度となく水害に見舞われた過去があります。今こそ治水対策も進み、水害に見舞われるという危機感は希薄になっていると感じます。

当地区の防災を担当して5年が経ちました。地域住民への防災意識向上に努めて参りましたが、近年の山梨県の災害の少なさもあり、訓練参加者数などを見ても、防災意識の向上はなかなか浸透していないと感じます。

リバーサイド地区は水害だけでなく、地震災害などでも液状化や密集した建物の大規模災害など、この地域特有の災害に備える必要があります。まず、個々の住民がそのリスクを知り、何が必要でどのような動きをすべきかを考える事から防災は始まります。今後もより多くの方々へわかり易く伝え、住民参加による訓練の実施など、中央市と連携しながら進めて参りたいと考えております。



桜自治会(自治会長)

はやかわ けいいち
早川 啓一 さん

ミニバスと共に30年

91年3月に埼玉県から旧田富町に移住してきました。まずは子ども達の生活環境を整えるための居住地を探すことにし、いくつかの地域を見て回り、現在の中央市東花輪に決めました。娘は小学5年生、息子は小学3年生でした。桜団地にはわんぱく児童館もあり、子ども達には良い環境でした。

そんな中、息子がスポ少に誘われ、ミニバスに参加することになりました。息子が小学6年生になった時、正式にミニバスの指導者として登録することになりました。バスケの経験は中学から実業団まで25年間やってきたので、引き受けることにしました。

ミニバスの実績は、全国大会3回、関東大会にも出場させていただきました。また、教え子の中には教職に就いてバスケの指導者をしている姿もあり、嬉しく思います。

桜自治会では、子どもクラブ会長、自治会長と経験させていただき、少しはお役に立てたかと思っています。

編集後記

令和8年第2回市議会定例会は6月23日に閉会しました。

一般会計補正予算等の議案が可決され、これまでの骨格予算は政策的経費を追加した予算になり、予算執行に議会としてのチェックをしっかりと果たしていきます。

さて、本格的な夏の到来に、気象庁によると、今年の夏の平均気温は、全国的に平年を上回って推移する見通しとなっているそうです。夏の平均気温が統計開

始以降、最高を更新した昨年は、全国の熱中症による救急搬送者数が初めて10万人を突破する事態となっています。今年も高温傾向が予測されますので、市民の皆さま、命を守る対策の徹底を欠かさず、夏を乗り切りましょう。

議会広報編集委員会

委員長	江間 政雄
副委員長	田中 輝美
委員	内藤 巧 有泉 誠
	志村 勇 木下 友貴

